

# 中国雲台山地質公園

<大 矢 暁>

2006年5月に中国河南省焦作市で行われた第1回国際ジオパーク開発シンポジウムに参加し、その際に雲台山地質公園を訪れた。雲台山地質公園には始生代(Archean)の花崗岩・片麻岩、カンブリア紀とデボン紀の堆積岩が広く分布し、断崖絶壁が続く美しい景観が見られる。地元焦作市が熱心に整備し経営を進めており、観光資源として地元にも多くの雇用をもたらす経済的に大成功している。この大成功は「焦作現象」とよばれ世界の観光業界の注目を浴びている。地質公園内には博物館が新たに建設され、300箇所以上の説明看板が立てられ、180km以上の遊歩道が整備された。地質公園内の地質学的研究も進められ、カンブリア紀の地層の基盤となる花崗岩質片麻岩から34億年前という年代が得られるなどの成果があった。



左：雲台山地質公園の入口。中国の地質公園は入場料をとる。入場料は120円で、これは研究所若手職員の月給の約3%に相当するかなり高い料金であるが、表紙の写真にもあるように多くの観光客が訪れる。

左下、下：切り立った尾根が続き、美しい峡谷も発達する。



始生界とカンブリア系の間の不整合露頭。不整合面付近にあるステッキの長さは約1.2m。



景観に配慮して作られた博物館。写真中央付近に入口がある。